様式第 27 （第29条関係） （平24経産令２・全改）

（その１）

坑内実測図（平面図）

縮尺

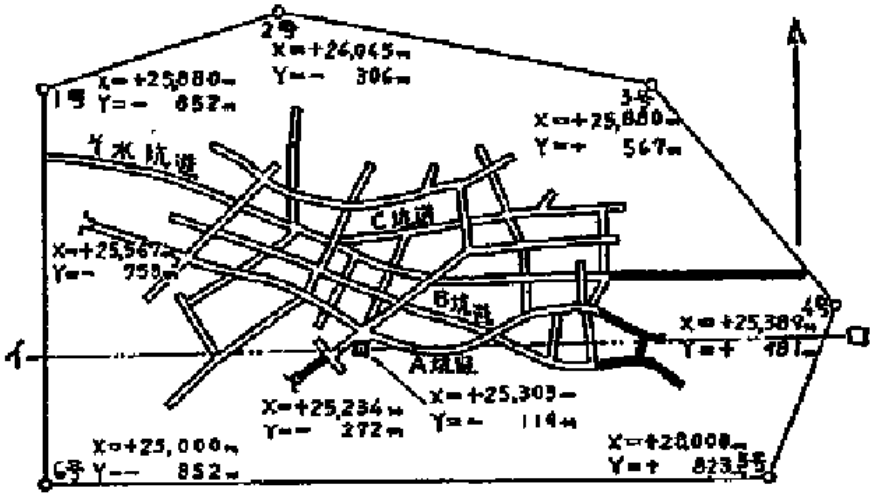
住所

採掘権者　氏名又は名称

1　採掘権の登録番号

2　採掘鉱区の所在地

3　目的とする鉱物の名称



符号			
	鉱区線	ⓟ	電動ポンプ
	水平坑口		正断層
	坑外立坑口		向斜
	坑内立坑口		反水平坑口
ⓜ	電動巻揚機		

備考

1　坑内実測図は、上記の例により作成すること。

2　縮尺は、1,000分の１とすること。ただし、この縮尺によつて表わし難いときは、適宜の縮尺によること。

3　軌道を設けた坑道又は機械等を設置した場所であつて、この図の縮尺によつて図上に表わし難いものは、適宜の縮尺によること。

4　符号は、日本工業規格鉱山記号（ＪＩＳ　Ｍ　0101）によること。

5　坑道の上下は色で区別すること。

（その２）

坑内実測図（断面図）

縮尺

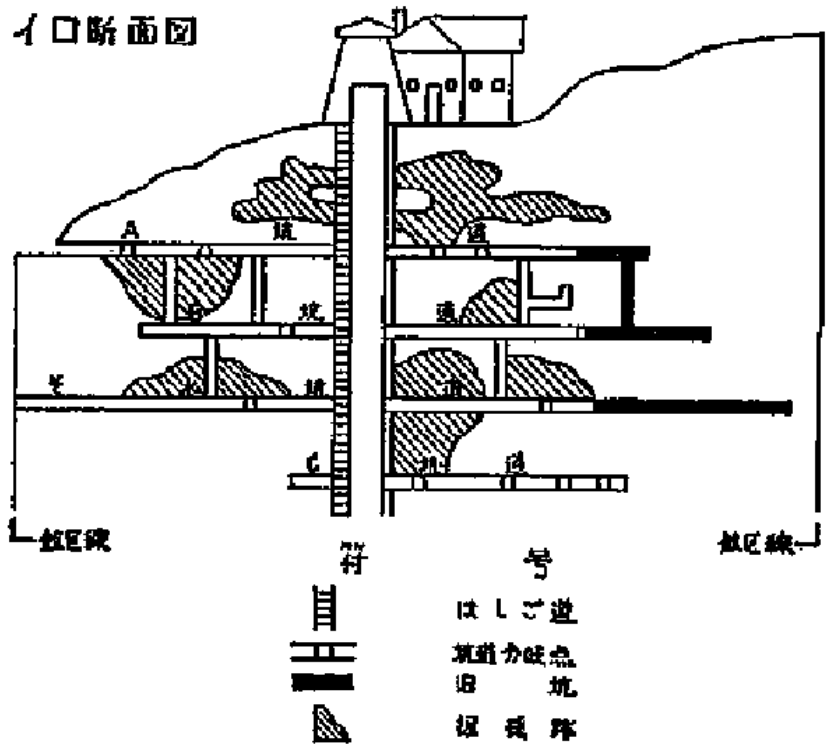
住所

採掘権者　氏名又は名称

１　採掘権の登録番号

２　採掘鉱区の所在地

３　目的とする鉱物の名称



備考

様式第27（その１）の備考と同様とする。

（その３）

坑内実測図（露天掘鉱山等）

縮尺

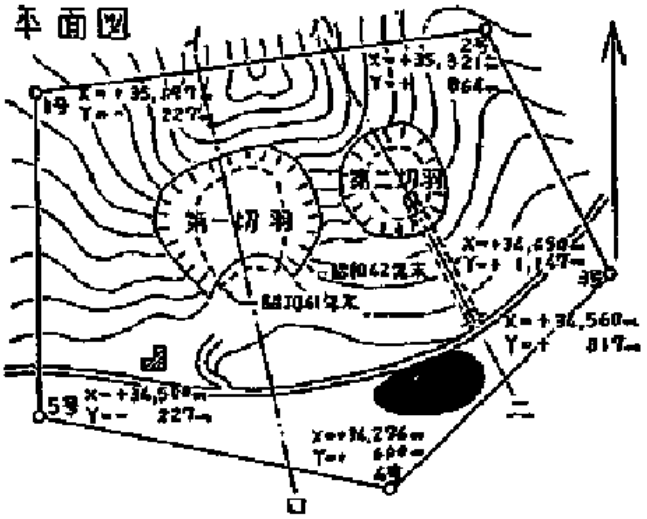
住所

採掘権者　氏名又は名称

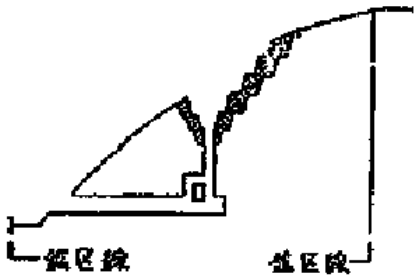
1　採掘権の登録番号

2　採掘鉱区の所在地

3　目的とする鉱物の名称



八二断面図



符　　号

	鉱区線
	水平坑口
	露天掘採場
	道路
	鉱山建物
	エアーパイプ
	タイ積場
	昭和42年度採掘分
	坑道

備考

1　当該年の採掘区域を色で区別すること。

2　様式第27（その１）備考１、２、３、４と同様とする。

（その４）

坑内実測図（石炭又は亜炭鉱山）

縮尺

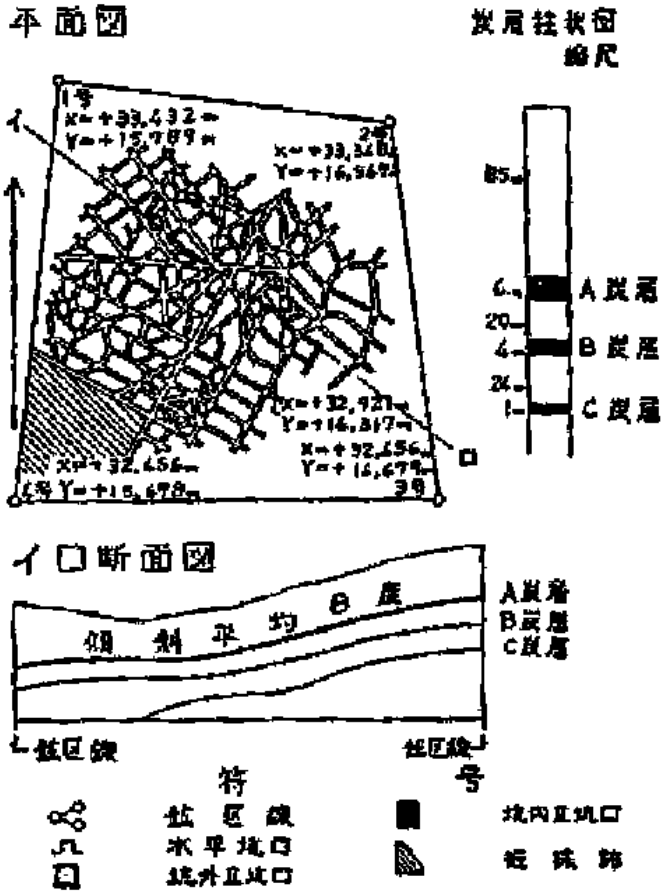
住所

採掘権者　氏名又は名称

１　採掘権の登録番号

２　採掘鉱区の所在地

３　目的とする鉱物の名称



備考

１　平面図では、坑道を着色して各炭層を区別すること。

２　炭層中に「はさみ」があるときは、柱状図に表わすこと。

３　巻揚機械、ポンプ、扇風機又は軌道等を設けた場合には、適宜の符号を用いてこれを明示すること。

４　様式第27（その１）の備考１、２、４と同様とする。

（その５）

坑内実測図（石油、可燃性天然ガス又はアスファルト鉱山）

縮尺

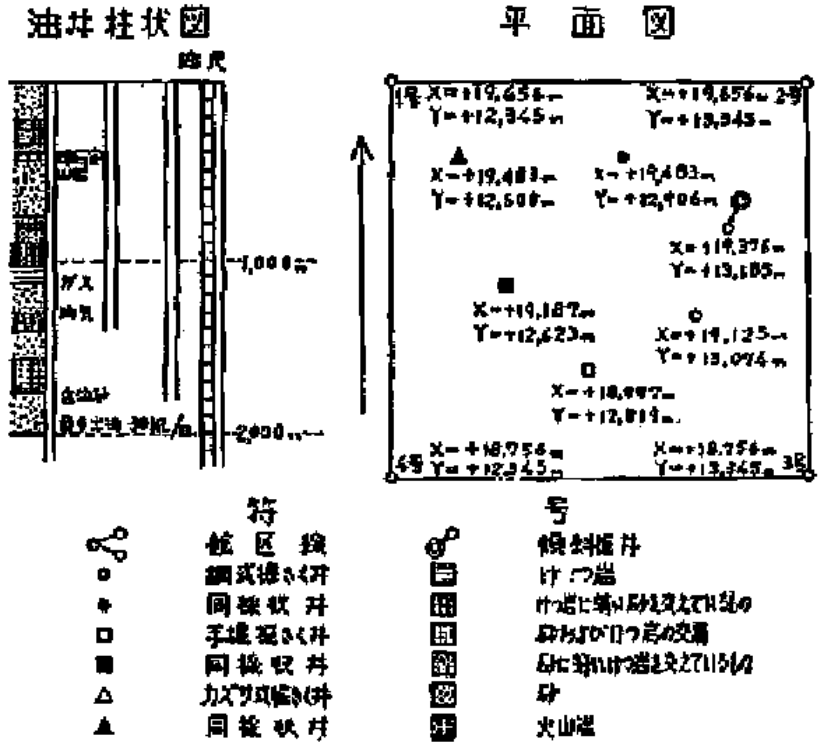
住所

採掘権者　氏名又は名称

１　採掘権の登録番号

２　採掘鉱区の所在地

３　目的とする鉱物の名称



備考

１　縮尺は、5,000分の１とすること。ただし、この縮尺によつて表し難いときは、適宜の縮尺によること。

２　油井の地質は、柱状図に記載すること。

３　油井柱状図に、出油の箇所を明示すること。

４　出油量は、最も多量に出油したとき、及び現在のそれぞれ１日量を記載すること。

５　様式第27（その１）の備考１、４と同様とする。